第五号の二書式（第十六条の三関係）（日本産業規格Ａ列３番）（昭41運令61・追加、昭50運令13・昭56運令12・昭59運令18・平６運令12・平９運令78・平14国交令79・平25国交令31・令元国交令20・一部改正）

預　金　管　理　状　況　報　告　書

年　　月　　日

地方運輸局長
運輸監理部長　殿

年４月１日から
年３月31日まで

船舶所有者の住所
及び氏名又は名称

主たる船員の労務管理の事務を行う事務所の所在地及び名称

貯蓄金管理協定届出（認可）年月日	年　　月　　日	当該年度末の船員数	人

区分／預金の種類／項目		預金		の状況		当該年度中の預金の保全の状況
					合計	
貯蓄金管理協定に定められた預金の利率		分　厘　毛	分	厘　毛		
預金額	当該年度当初の預金額(A)	千円		千円	千円	
	当該年度中の預金受入れ額(B)	千円		千円	千円	
	当該年度中の預金払いもどし額(C)	千円		千円	千円	
	当該年度末の預金額（Ａ＋Ｂ－Ｃ）	千円		千円	千円	

預金者数	当該年度当初の預金者数	人		人	人	
	当該年度末の預金者数	人		人	人	

記載心得

1　「当該年度末の船員数」の欄には、本年３月31日現在の船員数を記入すること。

2　預金の状況に関する各項目は、預金の種類別（普通預金、住宅積立預金等の別をいう。）に記入し、かつ、それらの合計を記入すること。

3　「預金額」の欄には、千円単位で記入し、千円未満の端数は、四捨五入すること。

4　「当該年度当初の預金額(A)」の欄には、前年４月１日現在の預金額を記入すること。

5　「当該年度中の預金受入れ額(B)」及び「当該年度中の預金払いもどし額(C)」の欄には、それぞれ、前年４月１日から本年３月31日までの間における預金受入れ額及び預金払いもどし額を記入すること。

6　「当該年度末の預金額（Ａ＋Ｂ－Ｃ）」の欄には、本年３月31日現在の預金額を記入すること。

7　「当該年度当初の預金者数」及び「当該年度末の預金者数」の欄には、それぞれ、前年４月１日現在の預金者数及び本年３月31日現在の預金者数を記入すること。

8　「貯蓄金管理協定に定められた預金の利率」の欄には、その利率を年利で記入すること。この場合において、毛未満の端数は、四捨五入すること。

9　「当該年度中の預金の保全の状況」の欄には、前年４月１日から本年３月31日までの間においてとつた預金の保全措置に関し、その方法、保全の範囲等を具体的に記入すること。